

あきた未来塾 余市セッション 2026 参加

2026年3月27日～28日、アーセプトコンサルティング(株)長谷部光哉会長は、県内若手経営者「あきた未来塾」(株)秋田銀行主催)第13期の余市セッションのファシリテーターを務めました。テーマは「SDGs・多様性理解・事業再構築」で、講師の坂本純科氏(NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト代表)から「地域課題とサステナビリティについて」のレクチャー、北海道在住の外国人(起業家・道内企業勤務者)の皆様との「職場における多様性理解の必要性」に係るグループディスカッション(英語・日本語)、非言語ゲームに加え、ワイン葡萄畑のワイヤーセッティング作業を実施しました。

塾生は、スウェーデン、アメリカ、香港、台湾、インドネシア出身の方々との意見交換や共同農作業により、秋田県内では触れる機会が少ない「多様性理解」について知見を深めることができました。余市セッションは第11期、第12期に続いて3年目、中小企業市場における国際化進展の中、次代を担う若手経営者向けのユニークなプログラムとして注目されています。

あきた未来塾は1年間で、経営戦略、財務管理、マーケティングから異業交流まで多彩なプログラムで構成され、これまで約130名の卒業生を輩出しています。第13期生10名は、7月の修了式での自社戦略のプレゼンテーションに向け、4月以降、本格的な準備に入ります。

アーセプトコンサルティング(株)は長谷部光哉会長(博士(経営学)・公認会計士)、長谷部崇社長(特定社会保険労務士)、長谷川晃取締役(中小企業診断士)によるチーム編成で、第1期から、プログラムの検討、経営戦略策定のレクチャーに参画して、県内企業の成長発展を支援しております。



◇エコビレッジ学び舎にて、屋外にはワイン葡萄畑や農場が整備されている。



◇エコビレッジの両面ソーラーとタイニーハウス（コンパクトな自給自足型ハウス）